

令和4年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 第6号

令和4年9月30日(金)発行

### 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

## 行事で育てる

けんもつ ゆきひこ  
校長 監物 幸彦

17日(土)、秋晴れの下3年ぶりに保護者の皆様に観戦いただく形での体育祭を実施することができました。翌日は台風の影響で大雨だったことから、ぎりぎりのタイミングで実施できて幸運でした。

学校行事は、生徒の達成感や充実感を味わわせ自尊感情を高めるとともに、生徒の生活の場である学級・学年という集団の質を高めることにもつながります。体育祭の取り組みを通して、子どもたちは大きく成長できたと実感しています。PTA役員の方々をはじめ保護者の皆様には、除草活動に始まり、前日の受付や飲み物販売、自転車整理等で大変お世話になりました。また、西部病院をはじめ近隣の皆様にも、温かく見守っていただいたことに深く感謝申し上げます。以下、体育祭でのあいさつ文を紹介します。

### 開会式の挨拶抜粋

まずは、体育祭に向け、朝早くから会場準備を、頑張ってくれた、体育委員をはじめ係の皆さんありがとうございました。

体育祭は、運動が得意な人が輝くためにあります。運動が苦手な人は、その憂鬱な気持ちに打ち勝ち、精神的に成長するためにも体育祭はあります。そして何よりも、みんなが優勝するぞ、というクラス共通の目標に向かって協力して取り組むことにより、クラスの団結力が深まっていく、その過程に体育祭の本当の意義があります。

学校生活の基盤は、クラスにあります。学校生活の多くの時間を過ごすクラスでの居心地が良ければ、学校が楽しくなります。クラスみんなで協力して、居心地の良いクラスをつくるために、行事はあるのです。

そのために、必要なことは、体育委員がリーダーシップを発揮して率先して頑張り、クラスや学年を引っ張っていくことです。しかし、リーダーの力だけで成功させることはできません。リーダーがリーダーシップを発揮するには、リーダーを支えるフォロワーの力が必要です。それをフォロワーシップといいます。具体的には、フォロワーはリーダーの指示に従いついていくだけでなく、積極的・主体的に、自分で考えて行動することを言います。

一人ひとりが、今日の体育祭に主体的に臨み、それぞれの場面で光り輝くとともに、クラスの団結が深まることを期待しています。それではみなさん、思い出に残る、素晴らしい体育祭にしましょう。

### 閉会式の講評抜粋

今日の皆さんの行動を振り返り、私の感想をお話したいと思います。

まず、最初に行った入場行進とラジオ体操。短い練習期間にもかかわらず、動きがそろっていて、素晴らしかったと思います。特にラジオ体操では指の先までそろっていて、とても美しかったです。また、入退場の態度も、3年生の最後の体育祭にかけの意気込みを感じることができました。

次に、競技です。全員がスローガンの「疾風迅雷」の通り、きびきびとした動作で、全力で取り組んでくれました。フライングが多かったのも、皆さんのやる気の表れだと感じました。競技だけでなく、自分のクラスを必死に応援姿も素晴らしかったと思います。一生懸命な姿は見るものを感動させてくれると感じました。これらの感動は普通の授業では味わうことができません。

そして、本日最大の功績は、3年生の存在です。3年生の姿を見て、1、2年生が上中の良い伝統を引き継いでいく。部活動とはまた違う、学校全体の雰囲気決定する大切な場だと思っています。それに対して、今日の体育祭に向け3年生がよく頑張ってくれたと思います。練習の時から、体育委員がリーダーシップを発揮して、自主的に練習する姿は本当に立派でした。とくに、実行委員長の永井君の「上中史上最高の体育祭にするという力強い選手宣誓」には心を打たれました。学年目標である「背中で語る青学年の3本の矢」を文字通り実行してくれたと思います。さらに、生徒の皆さんだけでなく、クラスカラーに身を筒んで大きな声で応援してくれた担任の先生。5色のカラーを身にまとって応援していた副担の先生。場を盛り上げようと乱入した3年有志のダンスのメンバー。あらためて「温かい学校」だということを実感させられました。

さて、体育祭という行事は皆さんにとっては、中学校生活のひとつの通過点にすぎません。体育祭の取り組みを通して、いかにクラスが団結し、学級集団としてのまとまりが高まったかということが大切です。今日、うまくいかなかったクラスもあると思いますが、そんなクラスは次の合唱コンクールの取り組みを通して、お互いが高めあえるようなクラスを作っていってほしいと思います。ぜひ体育祭で培ったクラスの団結力を生かし、次のステップへと進んでいきましょう。

最後に、今回、体育委員をはじめとして、この行事のために燃えてくれたすべての人へ、心から拍手を贈るとともに、1、2年生が、今年の3年生の立派な姿を目に焼き付けて、来年は、さらに素晴らしい体育祭にしてくれることを期待して講評といたします。みなさん、素晴らしい体育祭をありがとうございました。